

「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（素案）について

基本目標 1（自然動態に関する目標）**若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現する**

(1) 成果指標（案）

合計特殊出生率：2030年までに1.72に向上

婚姻数：毎年度増加を目指す

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向（案）

- ・ 若い世代が希望どおりに結婚することができ、子どもを持つことができるよう、経済的な安定や出会いの場の拡充を図る。
- ・ 全ての市民が安心して、妊娠・出産・子育てをすることができるよう、切れ目のない支援を行う。
- ・ 出産・子育てに積極的な市民を増やすため、サービスの充実や子育てに係る負担の軽減や、働きながら子育てできる環境の実現を図る。
- ・ 高齢者が健康でいきいきと生活しながら、若い世代の子育てを手助けできる社会の実現を図る。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

【基本的方向】① 若い世代が希望どおりに結婚することができ、子どもを持つことができるよう、経済的な安定や出会いの場の拡充を図る。

	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
若い世代の経済的安定の実現	○就業支援の充実	◆就職に関するセミナーや説明会、講座に参加した者のうち、就職した人数 ・事業に参加した女性の数：30名
	・就職相談・就職支援セミナーの実施	
	・求人企業合同説明・面接会の実施	
	○若者・女性の雇用促進	
	・若年者雇用マッチング事業	
	・女性再就職マッチング事業	
安心して結婚や子育てができる住環境の提供	○UJIターン就職の促進	◆家賃補助事業の補助件数
	○住宅施策の推進	
	・若年夫婦・子育て世帯家賃補助事業	

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・ 若い世代の経済的安定を実現していくための、東京圏を始めとした市外からの流入増と定着を図る取組について

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
結婚につながる若い世代の「出会いの場」の拡充		◆各種結婚イベントや講座に参加した者のうち、結婚した組数
	○結婚活動支援の推進	
	・今と未来の「子育て愉快だ宇都宮」事業	・グループワークショップの開催回数・参加者数：5回・140人 ・アドバイス紹介集の配布部数：3,500部
	・イベント等を通じたボランティア活動交流事業	・ボランティア活動等体験コーナーの参加者数：30人 ・ライフプラン形成支援セミナー開催回数・参加者数：2回・150人
	・結婚観醸成のためのライフデザイン支援事業	・自己啓発セミナー開催回数・参加者数：6回・180人
	・性と健康に関する思春期の健康教育の推進 ・保育体験や乳幼児との触れ合い体験等を通し、子育てに対する理解の周知・啓発	

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【基本的方向】② 全ての市民が安心して、妊娠・出産・子育てをすることができるよう、切れ目のない支援を行う。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
安心して妊娠・出産できる切れ目のない支援		◆こんにちは赤ちゃん事業の訪問面接率 : 100%
	○妊娠・出産に対する支援の充実	
	・妊婦健康診査の実施	
	・妊産婦医療費助成事業の実施	
	・特定不妊治療費支援事業, 人工授精治療費助成事業の実施	
	・こんにちは赤ちゃん事業の実施	
	・養育支援訪問事業の推進	
	・乳幼児健康診査の実施	
○良質・適切な子育て支援を総合的に提供		
○産前・産後における相談支援体制の充実		
子育て支援の充実		◆すべての子育て家庭がそれぞれの家庭状況に応じた子育て支援を受けながら安心して子どもを産み育てていると感じる市民の満足度: 34.0%
	○安心して子育てができる切れ目のない支援	
	・こども医療費助成制度の拡充	
	・予防接種事業の推進	
	・地域医療体制の充実	
	・奨学金貸付事業の実施	
	・ひとり親家庭の自立支援策の拡充	
	・障がいへの「気づき」段階からの支援の実施	
	・発達障がいのある子どもへの支援の実施	
・障がいのある子ども等に対する切れ目のない一貫した支援の充実		

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・安心して妊娠・出産できる環境を実現していくための、産前・産後から子育て期における切れ目のない総合的な支援を進める施策について

【基本的方向】③ 出産・子育てに積極的な市民を増やすため、働きながら子育てできる環境の実現を図る。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
働きながら子育てできる環境の実現		◆保育所入所待機児童数：0人 ◆育児休業の取得率：男性13%・女性100%
	○保育士等の安定的・継続的な確保支援事業	
	○待機児童解消に向けた保育所等供給体制の確保	
	・民間育児施設整備の推進，子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策の実施	
	○保育所利用定員拡充の促進	
	・企業等による事業所内保育施設等の設置促進	
	○ひとり親家庭等への支援充実	
	・ひとり親家庭の自立支援策の拡充	
	・ひとり親家庭に対する保育所の優先入所，地域型保育事業による子育て支援の促進	
	○児童健全育成環境の充実	
	・子どもの家事の実施	
	・放課後子ども教室推進事業の実施	
	○仕事と生活が充実し好循環（ワーク・ライフ・バランス）を生み出す環境づくりの推進	
	・企業における働きやすい職場環境づくりの促進	
・勤労者への意識啓発・理解の促進		
・働きやすい職場環境づくりを推進するための啓発事業	・研修開催回数・参加者数：2回・280人	
多子世帯等への支援		◆第3子の保育所，幼稚園の入所・入園数
	○多子世帯に対する支援の充実	

※網かけの施策は，国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・働きながら子育てできる環境を実現していくための，市民，企業の取組への支援等について
- ・就学前の子どもを持つ多子世帯の子育てに関する負担を軽減する取組について

【基本的方向】④ 高齢者が健康でいきいきと生活しながら、若い世代の子育てを手助けできる社会の実現を図る。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
高齢者が健康で長生きできる社会の実現		◆平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	○健康づくりの推進	
	・地域の健康づくり実践活動の推進	
	・食育の推進事業	
	・歯科口腔保健事業	
	○生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進	
	・特定健康診査等事業	
・がん検診		
・予防接種事業の実施		
高齢者が活躍できる社会の実現		◆高齢者等地域活動支援ポイント事業参加者数：10,000人(H29)
	○高齢者の社会参画の促進	
	・高齢者の社会参画の仕組みづくりの推進	
・高齢者の健康づくりの充実		

基本目標 2（社会動態に関する目標）

人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る

(1) 成果指標（案）

有効求人倍率：0.93⇒1.20（H29）

社会動態における転入超過：転入・転出者の差を5年間で100人増やす。

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向（案）

- ・本市の産業構造や自然環境を踏まえた上で、市内に安定した雇用を創出することで、本市の人口の定着を図る。
- ・地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。
- ・本市に対する移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりを図ることで、特に東京圏からの流入人口の増加を図る。
- ・本市の魅力を広く市外、県外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

【基本的方向】① 本市の産業構造や自然環境を踏まえた上で、市内に安定した雇用を創出することで、本市の人口の定着を図る。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
経済を支える地域産業の競争力の強化		◆市内事業所数（製造業）：640社 ◆耕作放棄地面積：40.0ha
	○企業立地の促進	
	・企業立地, 企業定着拡大再投資補助事業	
	○中小企業支援対策	
	・宇都宮市中小企業高度化設備設置補助事業	
	・信用保証料補助事業	
	・宇都宮商工会議所支援事業	
	・販路開拓支援事業補助金	・販路開拓事業による海外分支援件数：2件
	○新産地形成促進事業の推進	
	・大谷石採取場跡地等利用促進事業	・事業候補者向けの説明会出席者数：3者
	・推奨物販路・市場ニーズ調査	・夏季いちご試験栽培への支援：5a
		・調査報告書に基づく新規作物導入予定者向けの説明会実施：3回
		・新たに新規作物の生産に取り組む生産者：2者
	○農業の流通・販売戦略の構築	
	・うつのみやはじめてごはん事業	・配付人数：5,000人
○組織的な農業経営体の確保・育成		
・集落営農組織化支援事業の推進		
・畜産地域力強化事業		
○生産性・効率性の高い生産基盤の整備		
・大規模園芸団地整備事業の推進		
○持続可能な営農環境の形成		
・農村環境の保全推進		

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・本市産業の持続的発展，地域産業の充実・強化を図り，雇用を確保するための，新規企業誘致の推進と，他都市への流出防止に向けた市内既存企業に対する支援について
- ・農業の安定的な経営を実現するため，本市の特性をいかした農産物の販売・生産の充実や新たな販路開拓等の取組について

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
安定した雇用の創出		◆有効求人倍率：1.20
	○就業支援の充実【再掲】	
	・就職相談・就職支援セミナーの実施【再掲】	
	・求人企業合同説明・面接会の実施【再掲】	
	○キャリア形成支援の促進	
	・資格取得講座の開催	
	・共同職業訓練事業補助金	
	○若者・女性の雇用促進【再掲】	
	・若年者雇用マッチング事業【再掲】	
	・女性再就職マッチング事業【再掲】	・事業に参加した女性の数：30名
	○雇用確保・安定化の促進	
	・地区雇用協会補助金	
	○U J I ターン就職の促進【再掲】	

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・人口の定着と流入人口の増加を図るための、市内で就職する市外在住者を増加させ、労働力人口の定住につなげる施策について

【基本的方向】② 地域産業を支える地域人材の育成や、本市の持つ労働供給力の充実など、幅広い分野での「人づくり」を進める。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
市民協働によるまちづくりの推進		◆自治会加入率：70%
	○協働によるまちづくりの推進	
	・まちづくり活動への参加機会の充実	
	・まちづくり活動主体の組織力向上の推進	
	○地域主体のまちづくりの推進	
	・自治会活性化の促進	
市民の期待に応える教育の推進	・地域が一体となったまちづくりの推進	◆学習内容定着度調査における定着率（中3国語、数学、英語） 目標値：国語80%以上74.0% 50%未満 3.0% 数学80%以上80.0% 50%未満 7.0% 英語80%以上79.0% 50%未満 6.0%
	○確かな学力の定着	
	・児童生徒の学力向上の推進	
	・児童生児童生徒の英語力向上対策の推進	
	・学校ICT化の推進	
	○豊かな心の育成	
	・児童生徒の豊かな心の育成	
	○健やかな体づくりの推進	
	・児童生徒の体力の向上	
	・学校における食育の充実	
	・冒険活動事業の実施	
	○特別な教育的支援を要する児童生徒に対する指導の充実	
	・特別支援教育の推進	
	・不登校児童生徒の適応支援事業の推進	
	○交通安全教育の推進	
・通学路における交通安全対策の推進		

【基本的方向】③ 本市に対する移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりを図ることで、特に東京圏からの流入人口の増加を図る。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
新たな雇用を生み出す地域産業創出支援, 農業の担い手の確保		◆ 企業家セミナー等参加者数 : 100人 (H29)
	○起業家の育成・支援の推進	
	・チャレンジャーのまち うつのみや推進事業 (U J I ターンによる起業促進)	
	・リーディングベンチャー創出事業	・うつのみや起業家支援ネットワーク会議による新規施策実施数: 5件 (H27: 2件, H28~H30: 各1件)
	○次世代産業イノベーションの創出	
	・次世代産業イノベーション推進事業	
	○産業人材の育成	
	○新規就農者確保・育成事業の推進	
・農コン事業	・新規就農者の確保: 180人 (年間36人) ・実施回数: 2回, 参加人数: 80人	
活力ある中心市街地の実現		◆ 都市拠点 (市内中心部) の通行量 (平日) : 110,000人
	○中心商業地の活性化の推進	
	・ガンバルまちなか活性化支援事業補助金 (店舗改装費補助)	・商店街による空き店舗への新規出店: 2店舗
	・中心商業地出店等促進事業	
	○市内商店街等の魅力向上の推進	
	・商店街次世代経営者育成事業	・勉強会やワークショップ等への若手後継者の参加人数: 15名
・魅力ある商店街等支援事業		

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業 (平成27年3月)

【新たな施策・事業などについて検討いただきたい事項】

- ・本市産業の持続的な発展及び、中小企業等の継続的な事業展開を支援するため、各産業を担う人材の確保・育成を図る施策について

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
東京圏からの移住促進に向けた環境整備		◆高齢者のいる世帯の一定のバリアフリー化率：71.7%
	○住宅施策の推進	
	・住宅改修補助事業	
	・住宅取得補助事業	

【基本的方向】④ 本市の魅力を広く市外，県外に発信することで，来訪者の増加を図るとともに，本市での定住を促進する。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
戦略的観光事業の推進		◆本市年間観光入込客数：1,500万人 ◆宇都宮ブランド戦略進捗状況調査
	○観光資源の活用促進	【市内】 宇都宮に愛着がある人の割合 H26：74%→H27：75%
	・フェスタIn大谷交付金	【市外】 宇都宮への来訪意向の割合 H26：15%→H27：20%
	・二次交通観光活用事業（バス企画乗車券の導入）	
	・ジャパンカップサイクルロードレースの開催	
	・ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金	
	・うつのみや花火大会実行委員会補助金	
	・観光宣伝事業（観光パンフの配布，鉄道事業者へのポスター掲示等）	
	・ニューツーリズムの推進事業（おもてなしカードの発行，配布）	
	・プロスポーツチームへの支援・連携	
	・自転車を活用した観光誘客促進事業（国内向け誘客促進事業）	・イベントや競技等への参加者・来訪者数：5,000人
	・北関東中核都市広域観光連携事業	・ブルベ参加人数：300人
	○おもてなしある受入体制の充実	
	・着地型観光推進事業（国内向け誘客促進強化事業）	・ツアー催行本数：20本 ・ツアー参加者数：500人
	・誘客促進に向けた観光キャンペーン事業（国内向け誘客促進事業）	・キャンペーン実施時の観光パンフレット配布数：6,000部（1,500部×4回）
	・海外での観光PRの実施（外国人誘客促進事業）	・平成27年観光案内所来訪外国人数：6,500人（平成26年 6,006人）
	・外国語コンベンションガイドの作成（外国人誘客促進事業）	・各国大使館やスポーツ関係団体等へのコンベンションガイドの新たな配布：新規200件
	・外国人観光客向け情報発信強化事業（外国人誘客促進事業）	・本市の観光アプリダウンロード数：5,000件 ・外国語対応観光DVDの配布数：200枚（200団体）
	○宇都宮ブランド戦略の推進	
	・テレビ・ラジオ広報事業	
・宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」の運営		

※網かけの施策は，国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
歴史・文化による 地域活性化の推 進		◆文化資源活用イベント参加者数 ： 143,200人
	○文化活動環境の充実	
	・文化芸術鑑賞・体験の場の創出	
	○文化資源の保存，継承，活用	

基本目標3 (都市基盤に関する目標)

人口減少時代に適合したまちづくりを実現する

(1) 成果指標 (案)

交通分担率における公共交通の割合 : 毎年度増加を目指す
 市内人口に占める都市拠点・地域拠点の人口割合 : 毎年度増加を目指す

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向 (案)

- ・ 拠点形成と拠点間の連携・補完により持続的に発展する都市を実現する。
- ・ 本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。
- ・ 交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。
- ・ 自然環境や農地と市街地が有機的に連携した都市を実現する。
- ・ 効率的で健全な都市運営を実現する。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

【基本的方向】① 拠点形成と拠点間の連携・補完により持続的に発展する都市を実現する。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
高度な都市機能を備えた都市拠点の形成		◆人口集中地区 (DID) 人口 : 398,000人
	○計画的な都市機能の誘導	
	・ 立地適正化計画の策定	
	○高次都市機能の集積・付加価値の付与	
	・ J R宇都宮駅周辺地区整備の推進	
	・ 市街地再開発事業	
	・ 魅力ある景観づくり事業	
	○商業・業務機能の集積	
・ 都市機能 (生活利便機能) 誘導の推進		
・ 中心商業地の活性化の推進【再掲】		
市民の日常生活を支える地域拠点の形成		◆拠点内に誘導される都市機能 : 増加させる
	○日常生活に必要なサービスを提供する都市機能の立地・維持	
	・ 立地適正化計画の策定【再掲】	
	・ 都市機能 (生活利便機能) の誘導の推進【再掲】	
	・ テクノポリスセンター地区整備事業	
	・ 魅力ある景観づくり事業【再掲】	
	○交通結節点の整備	
・ 地域拠点における交通結節の強化		

【基本的方向】② 本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
高い競争力を生み出す産業拠点の形成		◆市内事業所数（製造業）：640社 ◆耕作放棄地面積：40.0ha
	○企業立地の促進【再掲】	
	・企業立地, 企業定着拡大再投資補助事業【再掲】	
	○中小企業支援対策【再掲】	
	・宇都宮市中小企業高度化設備設置補助事業【再掲】	
	・信用保証料補助事業【再掲】	
	・宇都宮商工会議所支援事業【再掲】	
	・販路開拓支援事業補助金【再掲】	・販路開拓事業による海外分支援件数：2件
特色ある地域空間を生み出す観光拠点の形成		◆本市年間観光入込客数：1,500万人 ◆宇都宮ブランド戦略進捗状況調査【市内】 宇都宮に愛着がある人の割合 H26：74%→H27：75% 【市外】 宇都宮への来訪意向の割合 H26：15%→H27：20%
	○観光資源の活用促進【再掲】	
	・フェスタIn大谷交付金【再掲】	
	・二次交通観光活用事業（バス企画乗車券の導入）【再掲】	
	・ジャパンカップサイクルロードレースの開催【再掲】	
	○おもてなしある受入体制の充実【再掲】	
	・着地型観光推進事業（国内向け誘客促進強化事業）【再掲】	・ツアー催行本数：20本
	・誘客促進に向けた観光キャンペーン事業（国内向け誘客促進事業）【再掲】	・ツアー参加者数：500人
	・外国人観光客向け情報発信強化事業（外国人誘客促進事業）【再掲】	・キャンペーン実施時の観光パンフレット配布数：6,000部（1,500部×4回）
		・本市の観光アプリダウンロード数：5,000件
	・外国語対応観光DVDの配布数：200枚（200団体）	
○宇都宮ブランド戦略の推進【再掲】		
・宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」の運営【再掲】		

※網かけの施策は、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」申請事業（平成27年3月）

【基本的方向】③ 交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
円滑で利便性の高い総合的な交通体系の確立		◆年間公共交通利用者数：42,000千人
	○拠点間を結ぶ公共交通ネットワークによる連携の強化	
	・LRT（次世代型路面電車システム）事業の推進	
	・バス路線の充実	
	・地域内交通の充実	
	・交通ICカードの導入推進	
	○自転車利活用の促進	
	・自転車走行空間の整備	
	○市街地交通の円滑化に向けた道路ネットワークの構築	
	・都市計画道路整備事業および幹線市道整備事業の推進	
・橋りょう維持修繕事業の実施		
・道路バリアフリー事業の推進		

【基本的方向】④ 自然環境や農地と市街地が有機的に連携した都市を実現する。

	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)
快適な居住環境の形成		◆都心居住地人口密度
	○居住を集約すべきエリアへの誘導	
	・住宅施策の推進（若年夫婦・子育て世帯家賃補助事業）【再掲】	
	・住宅施策の推進（住宅改修補助事業、住宅取得補助事業）【再掲】	
	・市営住宅整備の推進	
	・土地区画整理事業の推進	
	○地域特性に応じた土地利用の推進	
	・市街化調整区域等における土地利用方針の策定	
	・地域特性に応じた魅力ある公園づくりの推進	
	○家庭における低炭素化の推進	
	○市有施設における低炭素化の推進	
	・拠点施設への再生可能エネルギー導入支援事業の実施	
	○事業所における低炭素化の推進	
	・中小企業における省エネ推進支援事業の実施	
	○環境配慮行動の推進	
	・みやCO2バイバイプロジェクト事業の実施	
・みやの環境創造提案・実践事業の実施		
・幼児環境学習推進事業の実施		
・環境ISO普及事業の実施		
・もったいない運動の推進		
・さまざまな市民ニーズに対応した安全で安心な公園づくりの推進		
・3R施策の推進		
農地・森林などの自然環境保全	○持続可能な営農環境の形成【再掲】	◆緑被率
	・農村環境の保全推進【再掲】	
	○緑の拠点の維持・管理	
	・里山・樹林地の保全の強化	
	・都市緑化の推進	

【基本的方向】⑤ 効率的で健全な都市運営を実現する。

	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
効率的で健全な 都市運営		◆都市基盤維持管理に係る支出
	○公共施設建築物の老朽化対策の推進	
	・公共施設等総合管理計画の策定	
	・学校施設の老朽化対策の実施	
	・学校リフレッシュ事業の推進（トイレの洋式化）	
	・体育施設再整備事業の実施	
	・老朽化した水道施設の適正な更新や耐震化	
	・「下水道アクションプラン」の策定	
	○財政基盤の確立	
	・特別徴収一斉指定の実施	
・納税環境の整備		